

作成日 2016年 9月 14日
改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ハマタイト SC-SD1NB

供給者の会社名称 シーカ・ジャパン株式会社
住 所 東京都港区元赤坂 1-2-7 赤坂 K タワー 7F
担当部門 オペレーションズ&サプライチェーン Q-EHS
電話番号 0463-31-2772
FAX番号 0463-31-2769
整理番号 1161-R3
推奨用途 一般工業品（業務用）

2. 危険有害性の要約

GHS分類：

物理化学的危険性	非該当	
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 4
	急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分 4
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	皮膚感作性	区分 1
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告
危険有害性情報： 飲み込んだり吸入すると有害
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
強い眼刺激
水生生物に有害

注意書き： 《安全対策》
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗ってください。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

《応急措置》
飲み込んだ場合：気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

気分が悪いときは、医師に連絡すること。
 皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

《保管》

涼しい所／換気の良い場所で保管すること。

《廃棄》

内容物や容器を、国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 化学名又は一般名： 変成シリコン系シーリング材

成分名	含有量 (wt%)	化学特性 (化学式)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
シリル基末端 ^o リマー 充填剤	—	—	非公開	—	非公開
可塑剤	—	—	非公開	—	非公開
有機スズ化合物	0.5 未満 (スズとして 0.10 未満)	—	(2)-2180	—	非公開

成分名	化学物質管理促進法	労働安全衛生法
	有機スズ化合物	第一種指定化学物質 政令番号 第 239 号 (含有量 1%未満のため対象外)

危険有害成分： 有機スズ化合物
 (化学物質管理促進法、労働安全衛生法 通知対象物)

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所へ移動して寝かせる。頭痛等の異常がある場合には速やかに医師の診断を受ける。
 皮膚に付着した場合： 石けん及び水で洗い流す。炎症等が見られる場合は速やかに医師の診断を受ける。
 眼に入った場合： 清浄な水で最低 1 5 分間目を洗浄した後、眼科医の手当を受ける。
 飲み込んだ場合： 大量の水を飲ませて吐かせた後、速やかに医師の判断を受ける。
 最も重要な徴候及び症状に関する簡潔な情報： 特になし
 応急措置をする者の保護： 特になし
 医師に対する特別注意事項： 特になし

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 粉末、二酸化炭素、泡
 使ってはならない消火剤： 規制されない
 火災時の特定危険有害性： データ無し

特定の消火方法 : 粉末消火器、炭酸ガス消火器、泡消火剤等を用いる。
 消火を行う者の保護 : 保護眼鏡、保護衣、状況によって呼吸保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置 :
 : 曝露防止の為、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。
 環境に対する注意事項 : 河川、排水口等に流してはならない。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 飛散したものは出来るだけ空容器に回収する。残った液は砂、布等で拭き取る。
 二次災害の防止策 : 特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 炎、花火、若しくは高温体との接触又は過熱を避ける。
 注意事項 : この製品の 3,000kg 以上のものは消防法の指定可燃物（可燃性固体類）に該当し、貯蔵（廃棄の為の保管を含む）及び取り扱いの技術上の基準は所轄の市町村条例による。
 安全取扱注意事項 : 目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
 接触回避 : データなし
 保管
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、風通しの良い屋内に保管する。
 安全な容器包装材料 : 規制されない

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 防水シャワー、手荒い、洗顔設備を設置し、更に局所排気装置を設置することが望ましい。
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 設定されていない。
 保護具
 呼吸器用の保護具 : 状況に応じて有機ガス用防毒マスク着用する。
 手の保護具 : ゴム手袋
 眼、顔面の保護具 : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
 皮膚及び身体の保護具 : 作業衣、安全靴
 適切な衛生対策 : 作業中の飲食、喫煙の禁止

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : ペースト状
 色 : ホワイト
 臭い : ほとんど無し
 pH : データ無し
 融点/凝固点 : データ無し
 沸点又は初留点及び沸点範囲沸点 : データ無し
 可燃性 : データ無し

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データ無し
引火点	： 230℃
自然発火点	： 300℃以上
分解温度	： データ無し
pH	： データ無し
動粘性率	： データ無し
溶解度	： データ無し
n-オクタノール／水分配係数	： データ無し
蒸気圧	： データ無し
密度及び／又は相対密度	： 1.15～1.25 / cm ³ (23℃)
相対ガス密度	： データ無し
粒子特性	： データ無し

10. 安定性及び反応性

反応性	： 水と反応して硬化するが、急激な反応に伴う危険性はない。
化学的安定性	： 通常の条件下では安定
危険有害反応可能性	： データ無し
避けるべき条件	： 高温多湿
避けるべき材料	： 湿気（水）
混触危険物質	： データ無し
危険有害な分解生成物	： データ無し

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	データなし
急性毒性（経皮）	データなし
急性毒性（吸入：ガス）	データなし
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	既知の成分の計算結果が区分4に該当
皮膚腐食性／刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	既知の成分の計算結果が区分2Aに該当
呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	既知の成分の計算結果が区分1に該当
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	： 既知の成分の計算結果が区分3に該当
水生環境有害性 長期（慢性）	： データなし
残留性・分解性	： データなし
生態蓄積性	： データなし
土壌中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： データなし

1.3. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- ・専門の廃棄業者に委託する。または、自社廃棄の場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法令」に従うこと。
- ・内容物単独 : 安定型
- ・容器単独 : 安定型
- ・残余内容物(固化)が容器に付着している場合 : 安定型
- ・残余内容物(未固化)が容器に付着している場合 : 管理型

1.4. 輸送上の注意

国際規制 : 該当せず
国連分類 : 該当せず
国連番号 : 該当せず
国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 : 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件 :

容器から漏れのないことを確認する。

容器の転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

その他法令の定めるところに従う。

1.5. 適用法令

化学物質管理促進法 : 含有量から該当なし

第一種指定化学物質 政令番号 第 239 号 (有機スズ化合物)

労働安全衛生法 : 第 57 条の 2 第 1 項 (通知対象物)

政令番号 第 322 号 (スズ及びその化合物)

消防法 : 非危険物 指定可燃物 (可燃性固体類)

毒物及び劇物取締法 : 該当せず

1.6. その他の情報

主な引用文献 : 製品安全データシートの作成指針 (改訂版)

(財団法人 日本化学工業協会、日本レスポンシブル・ケア協議会)

本データシートは、日本工業規格 Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) 」 (以下「JIS」という) に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者を提供するものです。

取扱事業者は自らの責任において各々の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

記載内容は現時点で入手できる資料/情報/データに基づいて作成しております。しかし含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関してはいかなる保障をなすものではありません。

関連する新しい情報を入手した場合、本 SDS は改訂されることがあります。また注意事項は通常の実施の取扱いを対象にしたもので、特別な取扱いをする場合には用途/用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。